

Splunk Cloud Platformへの移行サクセスガイド

クラウド戦略を推進すれば、組織の規模に関係なくビジネスの俊敏性を高め、コストの削減、市場投入までの時間短縮、イノベーションの促進が可能になります。Splunkソリューションの移行に取り組むときは、適切なリソースとツールを活用することが大切です。

Splunk Cloud Platformのメリット

Splunk Cloud Platform™ では、Splunkの機能がSaaS (Software-as-a-Service)として提供されるため、インフラストラクチャを追加で購入、管理、導入せずに、データから導出したインサイトに基づいてより的確な意思決定を行い、適切なアクションにつなげることができます。インフラストラクチャ管理と管理タスクをSplunkにアウトソースすることにより、短時間で価値を実現し、セキュリティと信頼性を確保すると同時に、優先度の高い基幹業務に人材を集中できます。

- ・ **優れたサービス**：ITバックエンドの管理はSplunkのエキスパートに任せて、お客様は実際の業務でのデータ活用に集中できます
- ・ **少ないインフラ要件**：インフラの整備と管理はSplunkが行うため、クラウドベースのデータ分析ソリューションをすぐに利用できます
- ・ **高い信頼性**：GSAのFedRAMP PMOにより**FedRAMPのインパクトレベル「Moderate」の認定**を受け、ITARで「U.S. persons (米国民)」の要件を満たし、**SOC 2 Type 2、ISO 27001、IRAP、PCI、HIPAAに準拠**しています。



導入方法

まずは、無料の**Cloud Migration Assessment App for Splunk (SCMA)**をダウンロードします。このAppでは、オンプレミスの現在のSplunk環境を分析し、Splunk Cloud Platformに移行するための設定を把握できます。

Splunk環境の新規構築と既存設定の移行の選択

Splunk Cloud Platformへの移行時には2つのオプションを検討する必要があります。

1. 新しいSplunk Cloud Platform環境を一から構築し、手動でアプリケーションをインストールし直して、ダッシュボードを再作成します。このオプションは、既存の環境がシンプルな場合に適しています。また、新しいユースケースを取り入れる場合や、過去の設定を整理したい場合にもお勧めです。
2. 新しいSplunk Cloud Platform環境をオンプレミスの既存のSplunk® Enterprise環境と同じように設定したい場合は、既存の構成や設定をコピーできます。必要に応じてすでに取り込んだデータをコピーし、履歴サーチをシームレスに行うこともできます。このオプションを選択する場合は、**Splunkのプロフェッショナルサービスを契約**する必要があります。詳しくは、アカウントチームまたはps-sales@splunk.comにお問い合わせください。

いずれのオプションを選択する場合でも、既存の環境からSplunk Cloud Platformに必要な項目を正確に移行し、完了後に状況を検証できるように、既存の環境を維持することを検討してください。

移行前の確認事項

1. オンプレミスのSplunk環境とSplunk Cloud Platformの違い、およびSplunk Cloud Platformで利用するサービスを理解する

- Splunk Cloud PlatformとSplunk Enterpriseの機能はほぼ同じです(重複率95%以上)。それでも、異なる機能がいくつかあります。相違点の詳細については、[Splunk Cloud Platformサービスの説明](#)を参照してください。
- Splunk Cloud Platformは、標準化されたサービス(SaaS)として提供されます。Splunkのオンプレミス設定やホストされた設定を移行するときは、標準サービス(SaaS)との互換性を保つために修正が必要になる場合があります。

- 基盤となるクラウドサービスプロバイダーはAWSとGoogle Cloudのいずれかを選択できます。どちらも利用できるサービスは同じです。ただし、FedRAMPはAWSでのみサポートされます。
- [Cloud Migration Assessment App for Splunk \(SCMA\)](#) を使用すると、移行時に実行すべき作業を確認し、必要に応じて、エクスポート機能を使って追加レビューやスコープ設定を行うことができます。
- ハイブリッド環境の場合は追加の考慮事項があります。詳しくは、[Splunk Cloud Platformサービスの説明](#)を参照してください。

	担当	Splunk Enterpriseの オンプレミス導入	Splunk Cloud Platform	
管理タスク： セットアップ時に 1回のみ	HWの購入/レンタル	お客様	Splunk	Splunk導入環境の継続的な管理タスクは12種類あり、Splunk Cloud Platformの場合、そのうちの6つをSplunkが実施
	すべてのHWの設置/配線/ネットワーク接続	お客様	Splunk	
	Splunkのインストール	お客様	Splunk	
	OSのインストール	お客様	Splunk	
	Splunkの設定(ユーザー作成/アプリ読み込み/システム設定)	お客様	Splunk	
	インデックスの設定	お客様	Splunk	
	HA/クラスタの設定	お客様	Splunk	
	ディザスタリカバリーの設定	お客様	Splunk	
	フォワーダーの設定	お客様	お客様	
	データの取り込み	お客様	お客様	
	LDAP/ADとの統合	お客様	共同	
管理タスク： 継続的	HWのスケールアップ	お客様	Splunk	
	Splunkのバッチ/更新プログラムのインストール	お客様	Splunk	
	OSのバッチ/更新プログラムのインストール	お客様	Splunk	
	導入環境の監視/健全性チェック	お客様	Splunk	
	フォワーダーの管理	お客様	お客様	
	ユーザー / ロールの作成	お客様	お客様	
	インデックスの管理	お客様	お客様	
	追加データの取り込み	お客様	お客様	
	サーチヘッドのみのアプリの読み込み	お客様	共同	
	分散配備するアプリの読み込み	お客様	共同	
	プレミアムアプリの読み込み	お客様	Splunk	
データのエクスポート	お客様	お客様		
ユーザータスク	検索/アラート/レポート/ダッシュボード	お客様	お客様	

2. お客様とSplunkの共同責任について理解する

Splunk Cloud Platform環境のサポートについては、お客様とSplunkの両者が責任を持ちます。

その目的は、ユーザーエクスペリエンスをできるだけセルフサービス化して、Splunkはそれ以外の管理作業を支援することです(前ページの表を参照)。Splunkが行う必要のあるアップデートは、サポートチケットを発行してリクエストします。対応は、お客様の[サポートプラン](#)に付随するSLOに従って行われます。P3チケットの概要と応答時間の目安については、「[サポートプログラム](#)」[セクション](#)を参照してください。

3. サービスの機能を理解する (Appsとアドオン)

[Splunk Cloud Platformサービスの説明](#)で述べられているとおり、Splunk Cloud Platform環境は厳しいセキュリティ基準およびコンプライアンス基準を満たしています。コンプライアンスに沿った安全で信頼できるサービスの提供を保証するために、Splunk Cloud Platformに導入されるSplunkのAppやアドオンは、Splunk Cloud Platformへの対応について承認を受ける必要があります。

標準のSplunk Appsおよびアドオンの多くはSplunk Cloud Platform対応として承認済みです。SplunkbaseではSplunk Cloud Platform互換と表示されています。

これらのAppやアドオンは、組織内のSplunk Cloud Platform管理者がUIから直接導入することも、Splunkサポートに導入をリクエストすることもできます。

AppやアドオンがSplunk Cloud Platform対応の承認を受けているかどうかは、[Splunkbase](#)の各Appまたはアドオンのページで確認できます。承認済みの場合は、互換性のある製品として「Splunk Cloud Platform」が表示されます。

すべてのカスタムAppを含め、Splunk Cloud Platform対応の承認を受けていないAppやアドオンについては、組織内のSplunk Cloud Platform管理者がオンラインで審査を要求できます。審査に合格すれば、管理者は指示に従ってインストールできます。合格しなかった場合は、合格するまでAppのアップデートを求められます。Splunkプロフェッショナルサービスを利用して、Appの審査要件の理解やその後の手順をサポートしてもらうこともできます。

App審査の合格基準については、[Splunk Dev](#)を参照してください。実行されるチェックは「Cloud」列の「x」マークで示されます。Splunkの[AppInspect API](#)または[CLI Tool](#)を使って事前にAppを検証することもできますが、いくつかのチェックは手動で行う必要があります。Splunk Devでは、[App審査プロセス](#)の概要も紹介しています。

Overview	Details
<p>The Cisco Networks App for Splunk Enterprise includes dashboards, data models and logic for analyzing data from Cisco IOS, IOS XE, IOS XR and NX-OS devices using Splunk® Enterprise.</p> <p>Install this App on your search head. Install the Cisco Networks Add-on (TA-cisco_ios) on your search head AND indexers/heavy forwarders.</p> <p>Supported Cisco Devices:</p> <ul style="list-style-type: none"> * Cisco Catalyst series switches (2960, 3650, 3750, 4500, 6500, 6800, 7600 etc.) * Cisco ASR - Aggregation Services Routers (900, 1000, 5000, 9000 etc.) * Cisco ISR - Integrated Services Routers (800, 1900, 2900, 3900, 4451 etc.) * Cisco Nexus Data Center switches (1000V, 2000, 3000, 4000, 5000, 6000, 7000, 9000 etc.) * Cisco Carrier Routing System * Other Cisco IOS based devices (Metro Ethernet, Industrial Ethernet, Blade Switches, Connected Grid etc.) * Cisco WLC - WLAN Controller <p>Release Notes</p> <p>Version 2.5.8 May 28, 2019</p> <p>##### Fixed issues</p> <p>Version 2.5.8 of the Cisco Networks app fixes the following issues:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Overview dashboard not showing due to bug with index filter (this release actually fixes it) - Some fields have been renamed to align with field names in TA-cisco_ios because FIELDALIAS behaviour has changed in Splunk 7.2 	<p>4,506 Installs</p> <p>50,937 Downloads</p> <p>LOGIN TO DOWNLOAD</p> <p>VERSION</p> <p>2.5.8 ▾</p> <p>BUILT BY</p> <p>Mikael Bjerkeland</p> <p>SUPPORT ⓘ</p> <p>Not Supported</p> <p>Questions on Splunk Answers</p> <p>Flag as inappropriate</p> <p>Technologies: Cisco</p> <p>COMPATIBILITY</p> <p>Products: Splunk Enterprise Splunk Cloud</p> <p>Splunk Versions: 8.0, 7.3, 7.2, 7.1, 7.0</p> <p>Platform: Platform Independent</p> <p>CIM Versions: 4.x</p>

ドキュメント、トレーニング、ヘルプ

- サービスの詳細については、[Splunk Cloud Platform サービスの説明](#)をよくお読みください。
- Splunk Cloud Platformの操作の概要については、Splunk Cloud Platform [Admin Manual](#)を参照してください。
- 現在Splunk Cloud Platform管理者(SC管理者)である方、あるいは今後管理者になる予定の方は、[Splunk Cloud Platform Administration](#)コースを受講してください。また、Splunk Cloud Platform環境の健全性と使用状況の継続的な監視については、[Cloud Monitoring Console](#)のマニュアルを参照することもできます。Splunk Enterpriseの経験が豊富な管理者の方は、[Transitioning to Splunk Cloud Platform](#)コースを受講してください。
- Splunk Cloud Platformについてご不明な点がある場合は、[Splunk Answers](#)または[Splunkマニュアル](#)を参照するか、[Splunkサポート](#)にお問い合わせください。変更要求やその他の問題については、[Splunkサポートポータル](#)からリクエストを送信することもできます。ご利用いただけるリソースは、お客様のサポート契約によって異なります。

サービスレベル契約とメンテナンスポリシー

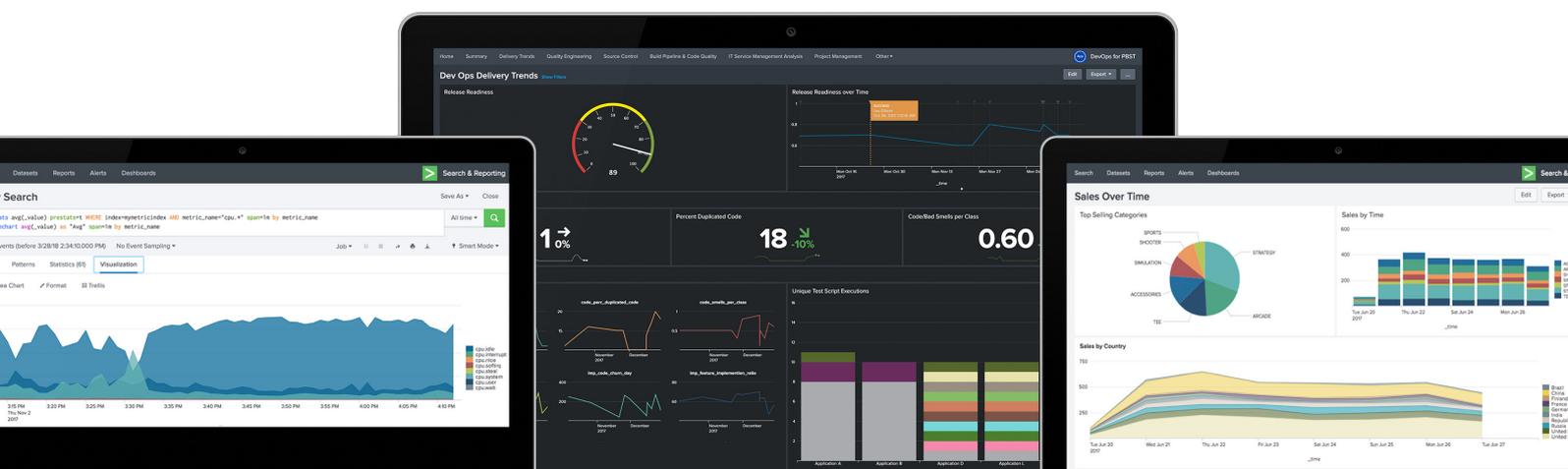
Splunkは、次の2つのドキュメントに規定されたSplunk Cloud Platformのメンテナンスポリシーとサービス可用性に基づいてお客様にサービスを提供いたします。

- [Splunk Cloud Platformサービスメンテナンスポリシー](#)：Splunk Cloud Platformの定期メンテナンスやアップグレード時の対応について説明しています。
- [Splunk Cloud Platformサービスレベルスケジュール](#)：Splunk Cloud Platformのサービスレベルコミットメントについて説明しています。アップタイムと可用性へのコミットメント、ダウンタイムに関する免責事項、サービスが停止した場合のお客様の請求権に関する説明が含まれます。このドキュメントは、Splunkのサービスレベル契約(SLA)としてもご参照いただけます。

移行をシームレスに行うために

Splunk Cloud Platformでは、Splunk Enterpriseの先進的な機能をクラウドベースサービスとして利用できます。そのため、インフラの設計、調達、管理は不要です。また、ニーズに合わせてシステムを簡単かつすばやくスケールリングできる柔軟性を活用できるほか、信頼性とコンプライアンスも確保できます。

Splunkは、お客様がオンプレミスのSplunkソリューションからSplunk Cloud Platformにできるだけシームレスに移行できるよう、さまざまな取り組みを行っています。[Cloud Migration Assessment App for Splunk \(SCMA\)](#)によるガイダンスと[Splunk Cloud Platformサービスの説明](#)は必ずご参照ください。Splunkプロフェッショナルサービスでは、プロセス全体を支援する[移行サクセスサービス](#)も提供しています。



Splunk Cloud Platformへの移行について詳しくは、営業担当者、カスタマーサクセスマネージャー (CSM)、または更新担当者までお問い合わせください。



営業へのお問い合わせはこちら：https://www.splunk.com/ja_jp/talk-to-sales.html
〒100-0004 千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング 8階

www.splunk.com/ja_jp
splunkjp@splunk.com